

近世史セミナー

テーマ「感染症と向き合う」

コロナウイルス感染拡大による未曾有の災禍により、社会は大きく変わりました。これまでの歴史の中で、人々はどのように感染症と向き合ってきたのかをふり返り、今後に生かす機会としたいと考えます。配慮が欠かせない日々が続きますが、感染対策を行いぜひご参加ください。

◇日時 **令和3年12月4日(土) 13:30~15:40** ※受付13:00~

◇会場 **長野県立歴史館 講堂**

◇申込 **事前申し込みが必要です(先着50名)**

申込方法は県立歴史館ホームページ(ながの電子申請サービス)、FAX、葉書、持参による。詳しくは県立歴史館ホームページをご覧ください。総合情報課までお問い合わせください。

日程及び内容

※観覧料(一般300円)が必要です

開会行事 (13:30~13:40)

研究発表1 (13:40~14:30)

「村人から見た感染症について」

塩澤 元広 氏

研究発表2 (14:40~15:30)

「筑摩郡旗本諏訪氏領

松本藩における幕末の感染症対策」

青木 教司 氏

閉会行事 (15:30~15:40)



【問い合わせ先】 長野県立歴史館 総合情報課

TEL 026-274-3991

FAX 026-274-3996